

院内がん登録統計 (令和3年)

- このデータは令和3年1月1日～令和3年12月31日の間に、
当院の入院および外来で、診断や治療等を行った悪性新生物及び中枢神経系腫瘍、
消化管間質腫瘍（GIST）、一部の境界悪性の卵巣腫瘍を
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」
に基づき登録し、当院が独自に集計したものです。
- 「項目番号420：症例区分」が「80:その他」も含んだ集計となっています。
- 部位別の集計を参照の際は、「部位別の集計表を見るとき の注意点」を
お読みください。

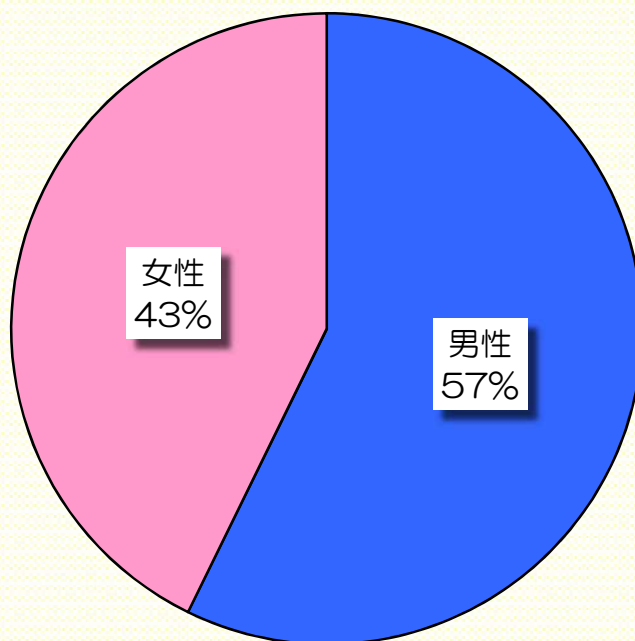
-目次-

1. 男女の割合と登録件数
2. 性別年齢階層別の割合
3. 原発部位別の登録割合
4. 症例区分別の登録割合
5. 都道府県別及び市区町村別の登録割合
6. 来院経路の割合
- ※部位別の集計表を見るとき の注意点
7. 上位10部位性別年齢階層別登録割合及び治療内容割合
 1. 肺
 2. 大腸(結腸・直腸)
 3. 乳房
 4. 胃
 5. 食道
 6. 前立腺
 7. 膵臓
 8. 肝臓
 9. 口腔・咽頭
 10. 脳・中枢神経系
8. 登録件数推移

男女の割合と登録件数

男女比率	2021		
	男性	女性	合計
登録件数	454	339	793
割合	57%	43%	100%

男女の割合



○2021年の全登録件数は793件です。

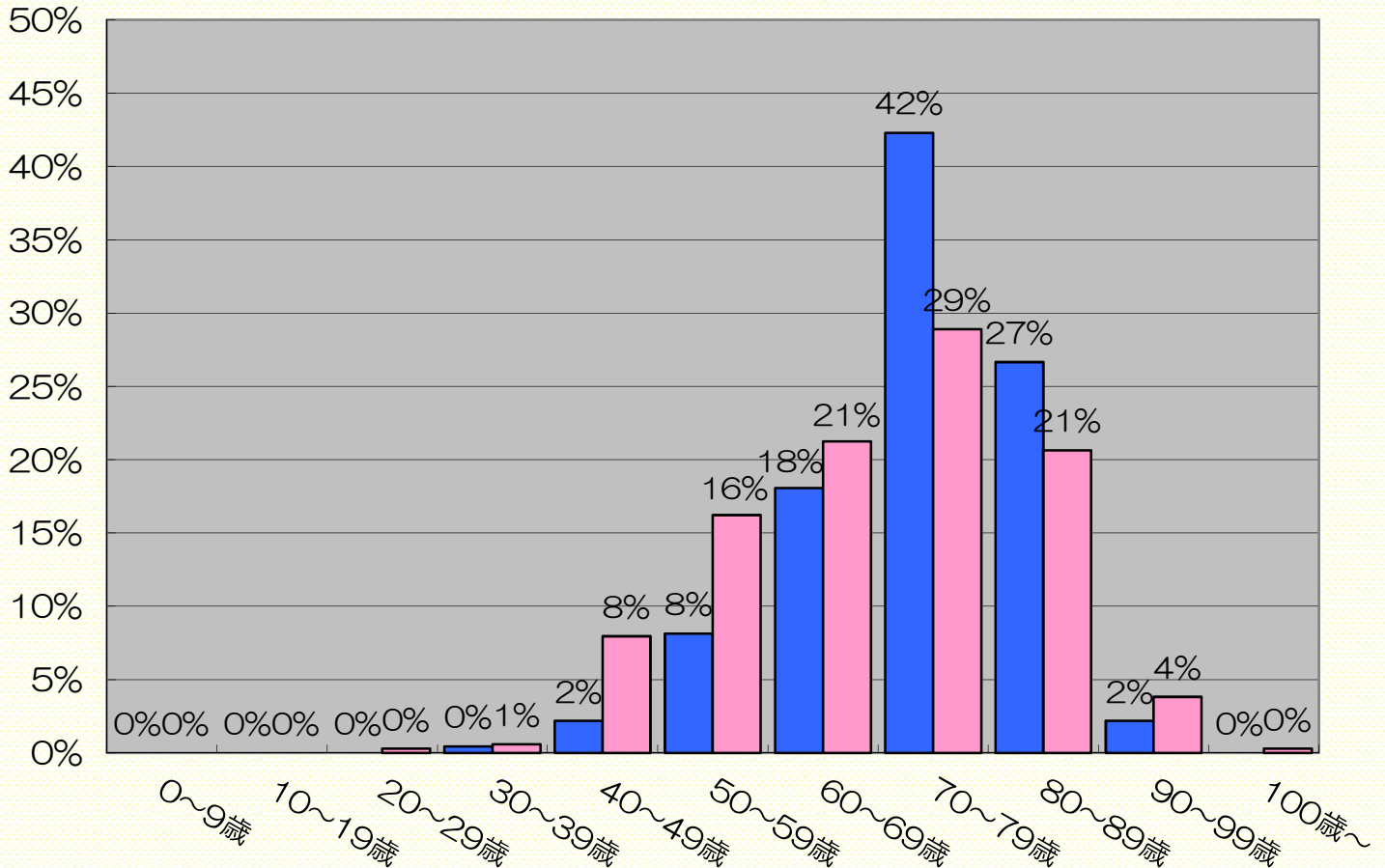
○ 男性の悪性新生物等の登録件数は454件、女性の悪性新生物等の登録件数は339件です。

○ 男女比率は、男性が57%、女性が43%です。

性別年齢階層別の割合

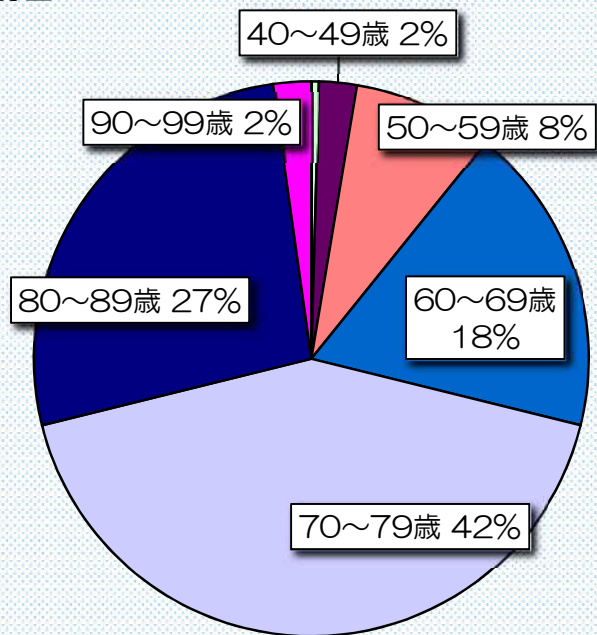
性別年齢階層別の登録割合

登録件数=793



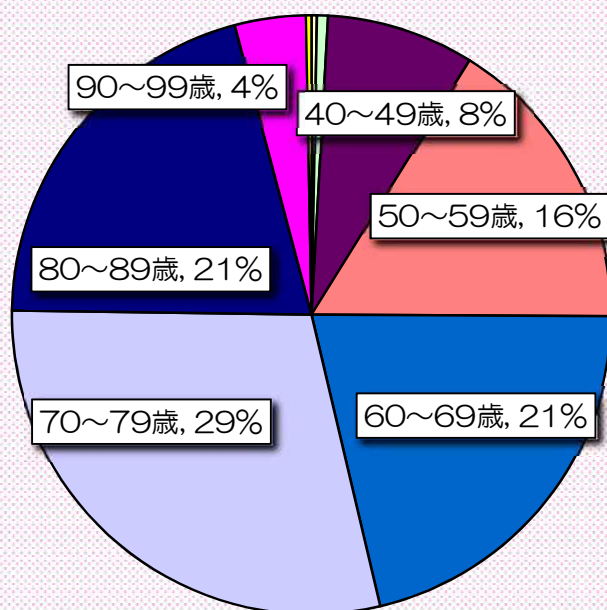
○ 年齢層は、男性・女性とも70歳～79歳が最も多く、次いで男性では80歳～89歳、60歳～69歳の順、女性では60歳～69歳、80歳～89歳の順で多くなっています。男性の70歳～79歳の割合が42%と他の年齢階層の割合と比べて高くなっています。

男性の年齢階層別の割合



登録件数=454

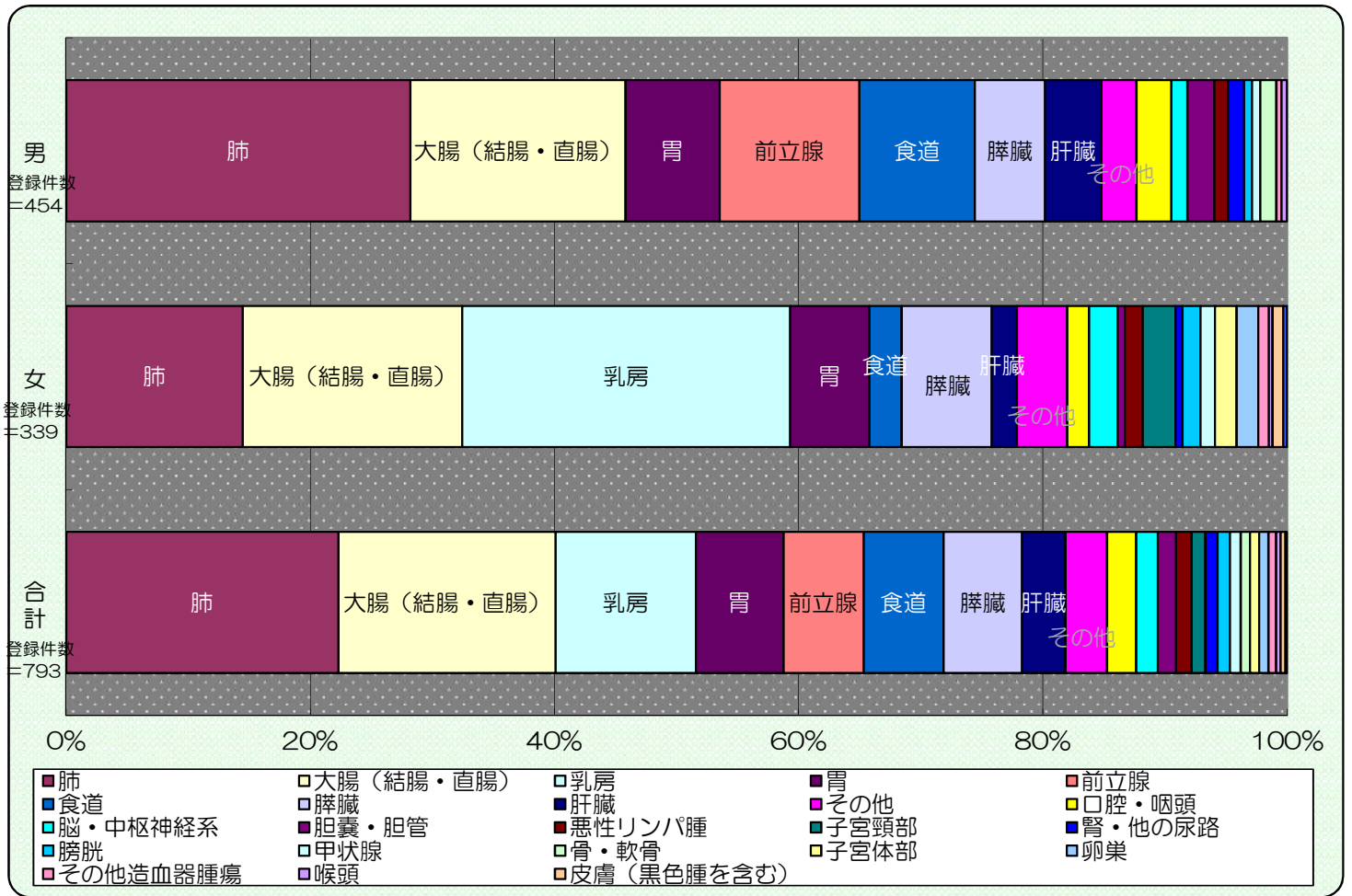
女性の年齢階層別の割合



登録件数=339

○ 当院では、男性は高い年齢層の割合が高く、女性は男性に比べ低い年齢層（40歳から50歳代）の割合が高くなっています。

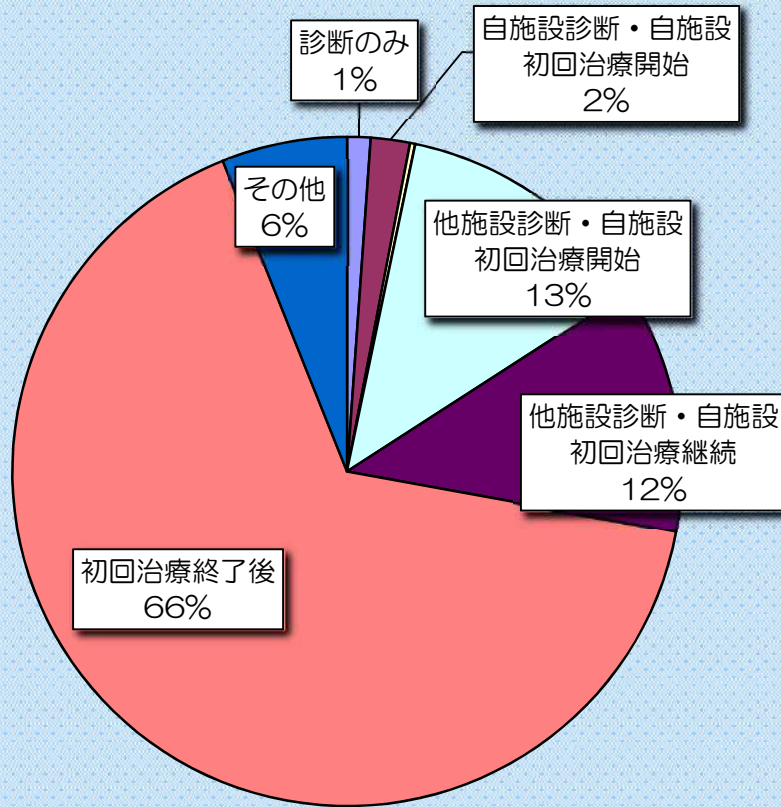
原発部位別の登録割合



○男性は、1：肺 2：大腸(結腸・直腸) 3：前立腺 4：食道 5：胃の順で割合が高くなっています。女性は、1：乳房 2：大腸(結腸・直腸) 3：肺 4：膵臓 5：胃の順で割合が高くなっています。全体では、1：肺 2：大腸(結腸・直腸) 3：乳房 4：胃 5：前立腺の順で割合が高くなっています。

症例区分別の登録割合

症例区分別の割合

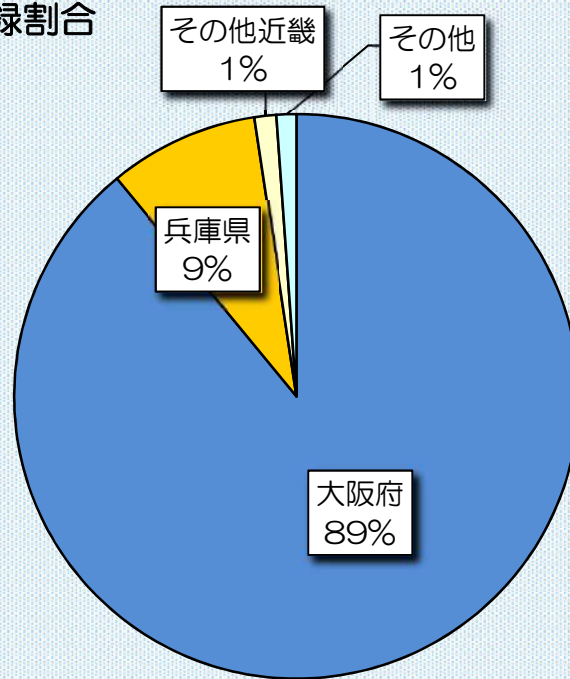


登録件数=793

○当院では、「初回治療終了後」（初回治療が終了した後の継続治療や、再発や転移したがんの治療）の割合が最も高く、次いで「他施設診断・自施設初回治療開始」（他施設で診断され、当院で初回治療開始された症例）、「他施設診断・自施設初回治療継続」（他施設で診断・初回治療が開始され、その初回治療継続の症例）の順で割合が高くなっています。

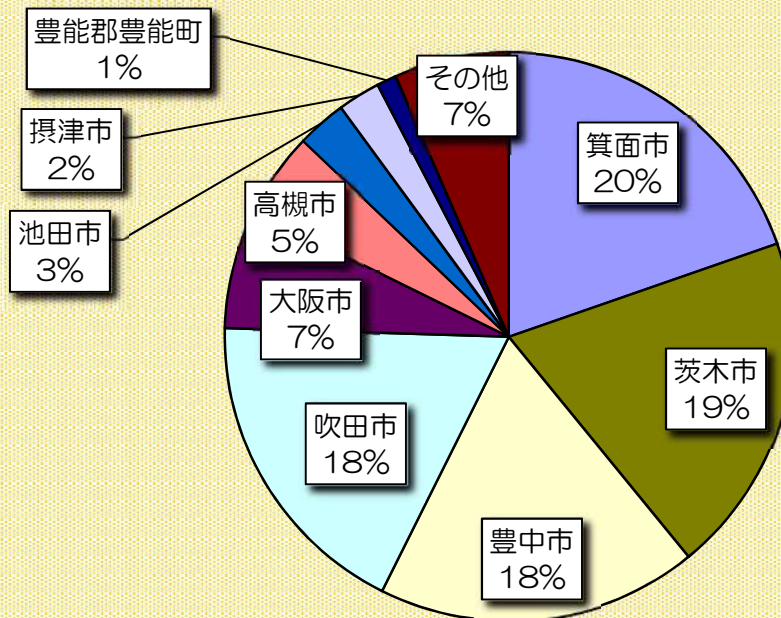
都道府県別及び市区町村別の登録割合

都道府県及び地方別の登録割合



登録件数=793

大阪府内の市区町村の割合



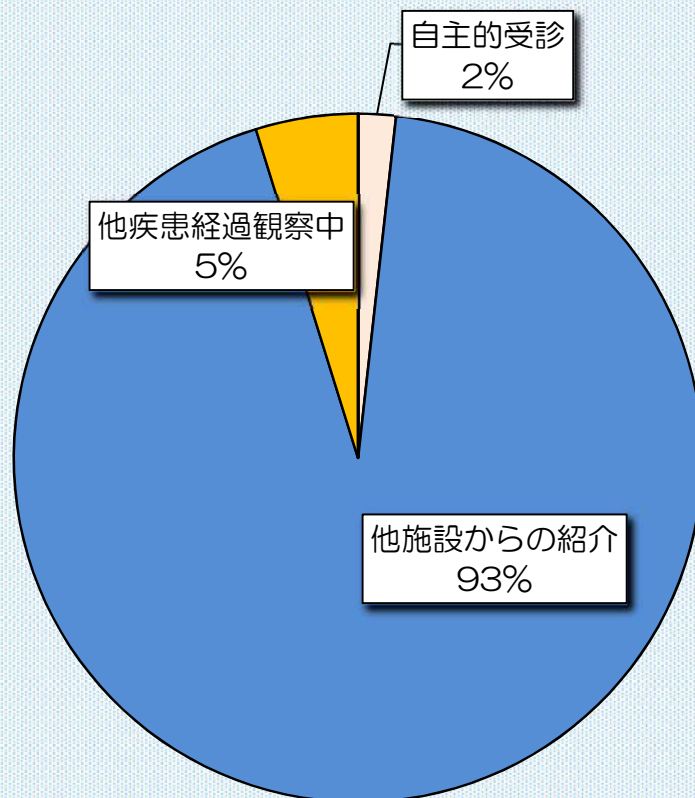
登録件数=706

○都道府県別では、大阪府が89%で兵庫県が9%、その他近畿地方が1%という割合になっています。

○大阪府内で見ると、箕面市、茨木市、豊中市、吹田市の順で割合が高く、75%を占めています。次いで大阪市、高槻市、池田市、摂津市という順になっています。

来院経路の割合

来院経路別の割合



登録件数=793

○来院経路の割合は、他施設からの紹介が最も多く93%となっています。次いで他疾患経過観察中（自施設で他疾患により経過観察中にがんと診断あるいはがんが疑われた場合）、自主的受診の順となっています。

※部位別の集計表を見るとききの注意点

○以下の部位別の集計は、当院独自の集計方法となりますので、
下記を確認の上ご参照ください。

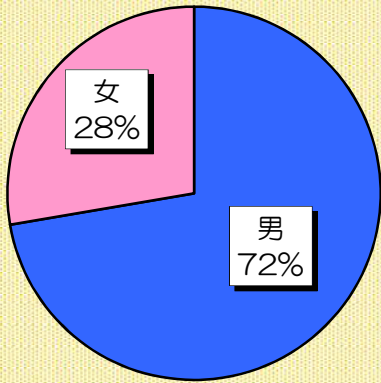
※部位別の集計では、初回治療、初回治療継続症例だけでなく、
初回治療終了後の再発・転移症例等を含む、全ての登録情報で集計を
行っています。

※放射線治療には症状緩和的治療（除痛目的の放射線治療）が含まれており、
原発巣に対する治療だけでなく、転移巣や再発巣に対する治療や腫瘍の
縮小目的以外の治療も含まれています。

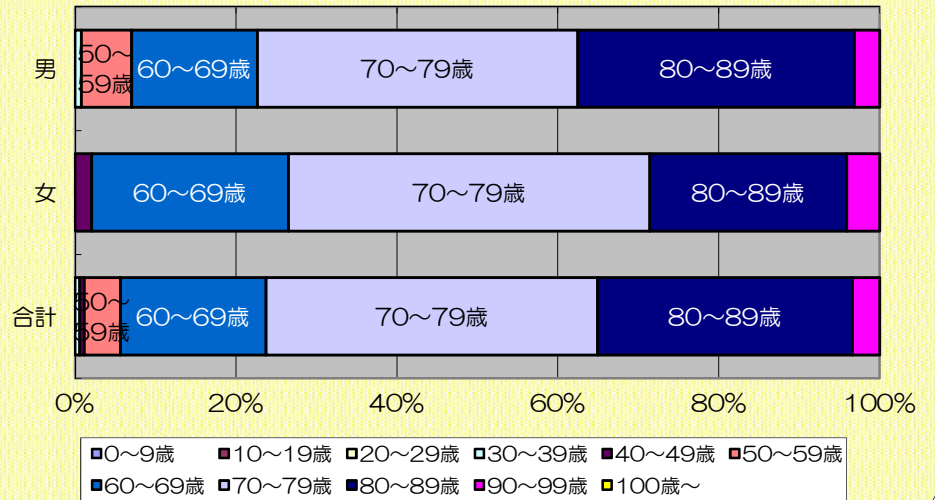
※治療内容の「その他」は、外来診療や一般病棟での加療及び対症療法（症状緩和を
目的とした薬物療法等）や経過観察等になります。

1. 肺

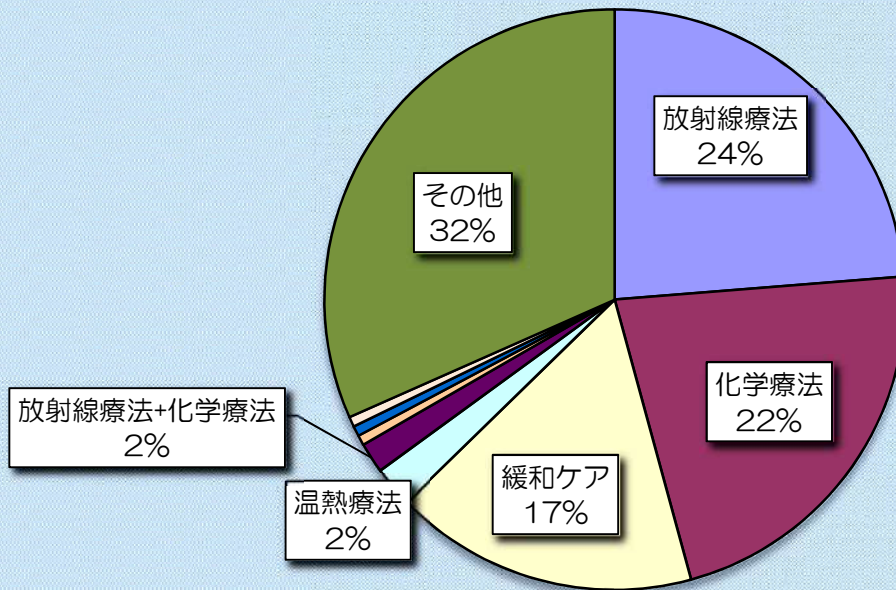
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肺がんの登録件数は177件です。

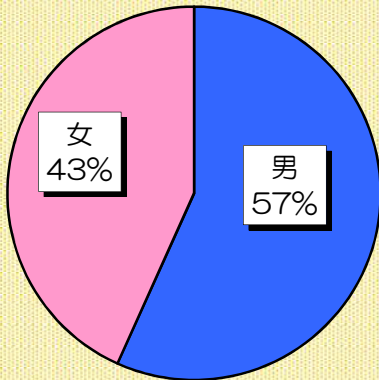
○当院では、肺がんの男女比率は男性が72%、女性が28%となっています。

○年齢階層は、男女とも70~79歳の割合が高くなっています。

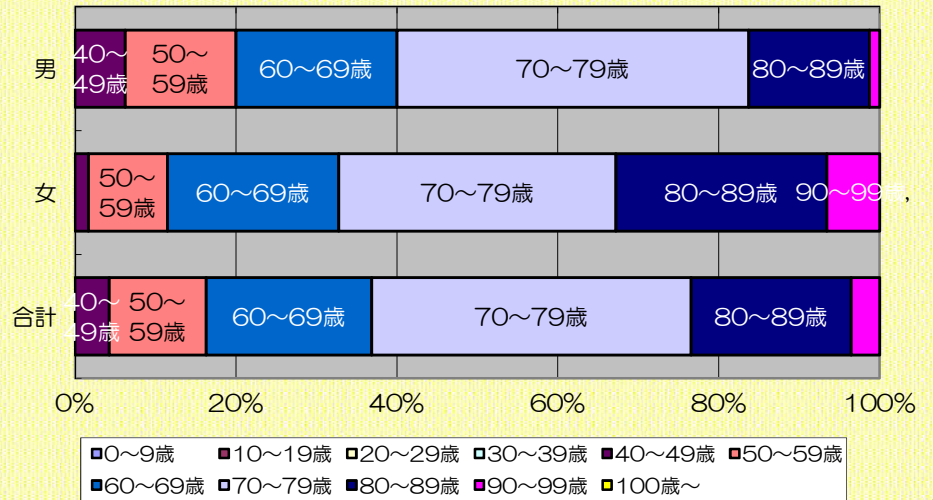
○治療の内訳は、放射線治療、化学療法、緩和ケア、温熱療法、放射線療法+化学療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も32%となっています。

2. 大腸(結腸・直腸)

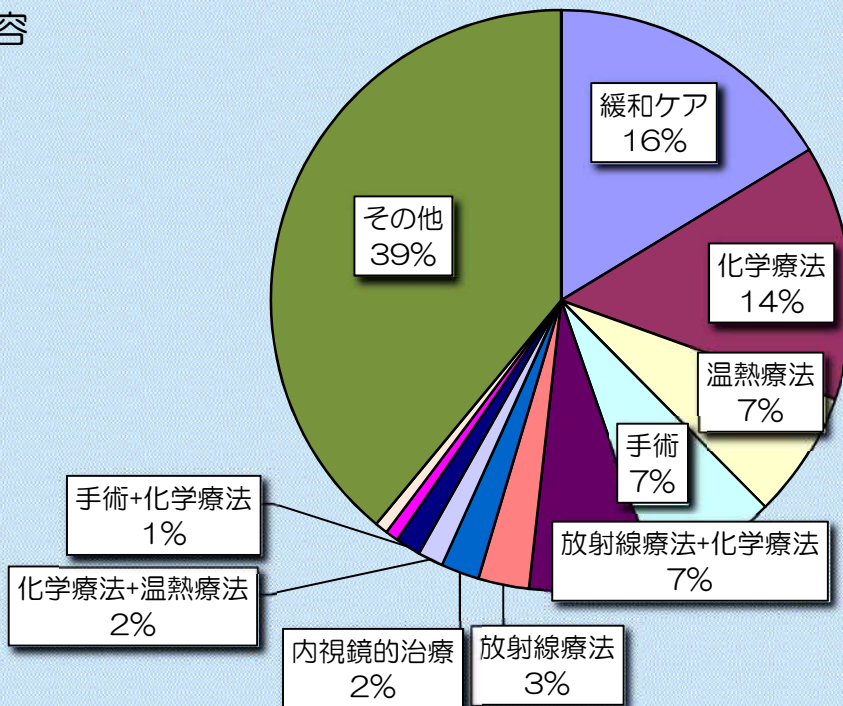
男女の割合



性別年齢階層別の割合



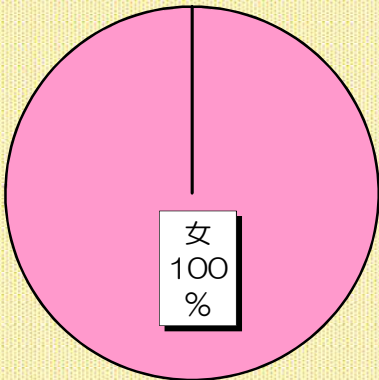
治療内容



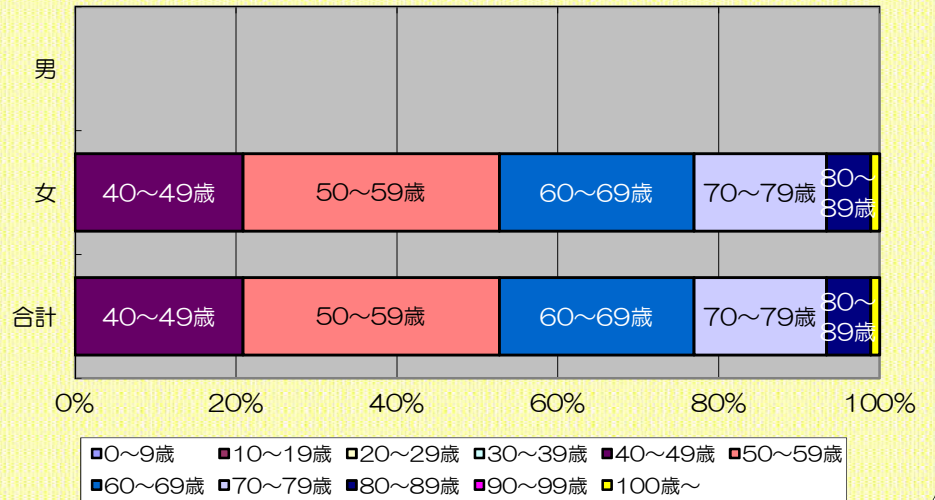
- 大腸がんの登録件数は141件です。
- 当院の大腸がんの男女比率は、男性が57%で女性は43%となっています。
- 年齢階層は、男性女性とも、70~79歳の割合が高くなっています。
- 治療の内訳は、緩和ケア、化学療法、温熱療法、手術、放射線治療+化学療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合が39%と高くなっています。

3.乳房

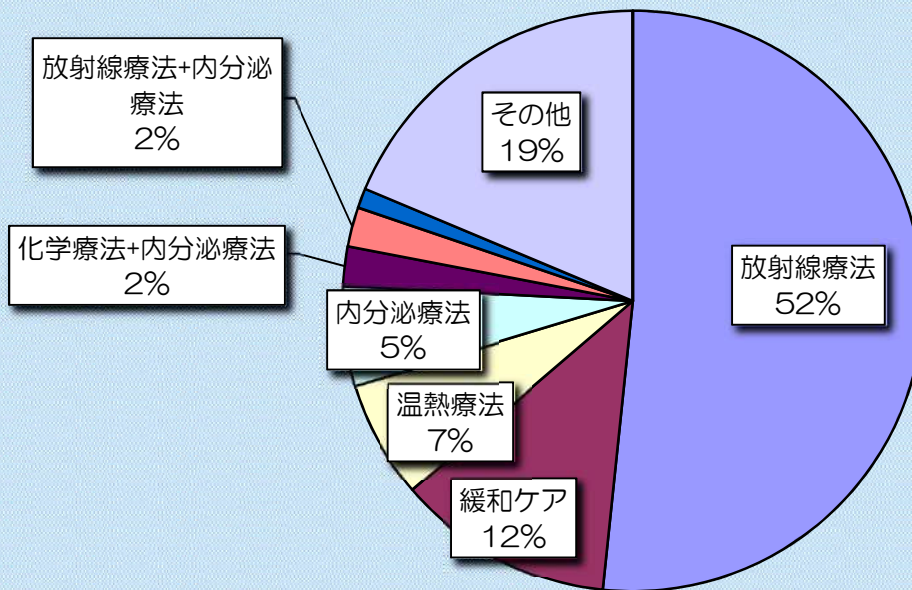
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



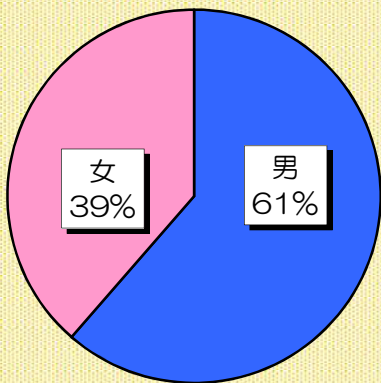
○乳がんの登録件数は91件です。

○年齢階層は、50~59歳の割合が高くなっています。他の部位に比べ40~49歳、50~59歳の割合が高く、年齢の若い方の割合が高くなっています。

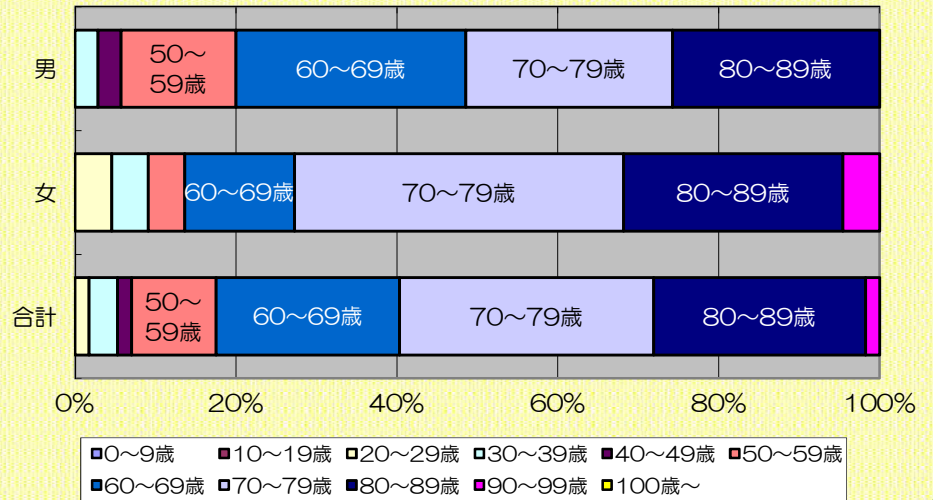
○治療の内訳は、放射線療法の割合が最も高く、次いで緩和ケア、温熱療法、内分泌療法の順となっています。

4. 胃

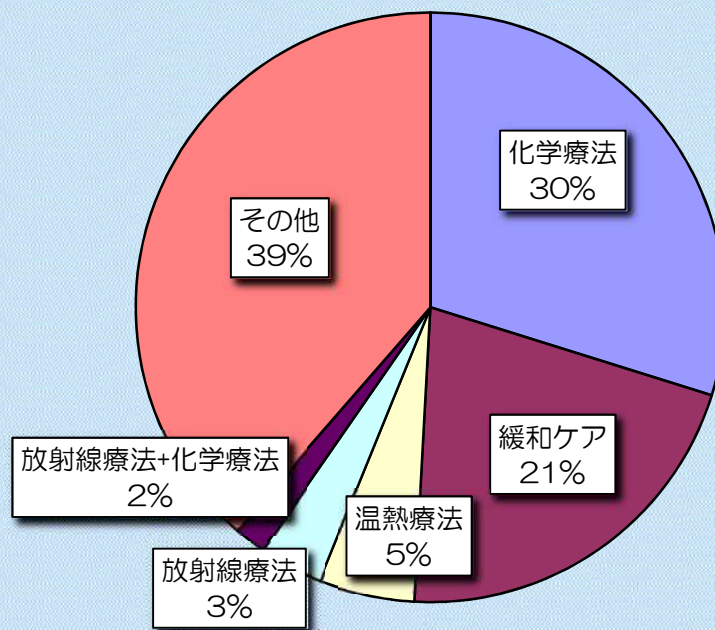
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○胃がんの登録件数は57件です。

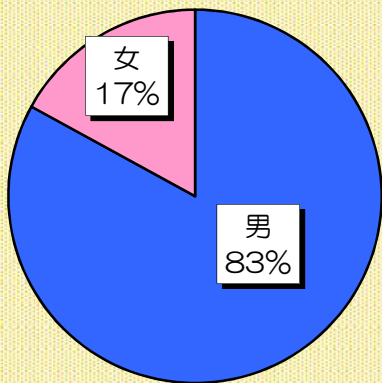
○胃がんの男女比率は、男性が61%、女性が39%となっています。

○年齢階層は、男性では、60~69歳、70~79歳、80~89歳の割合が高く、女性は、70~79歳の割合が高くなっています。

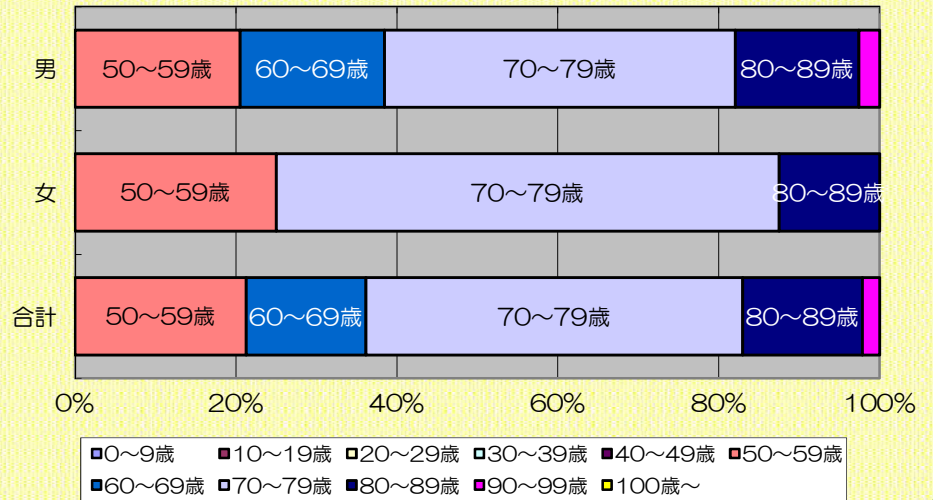
○治療の内訳は、化学療法、緩和ケアの割合が高くなっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も39%と高くなっています。

5. 食道

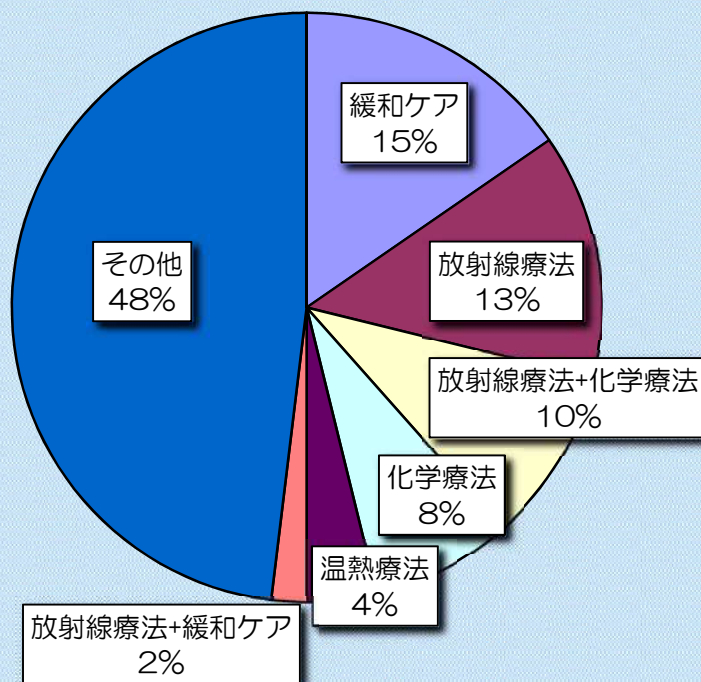
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○食道がんの登録件数は52件です。

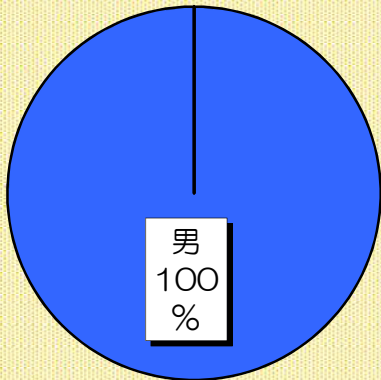
○食道癌の男女比率は、男性が83%と高い割合を占めています。

○年齢階層は、男性女性とも70~79歳の割合が高くなっています。

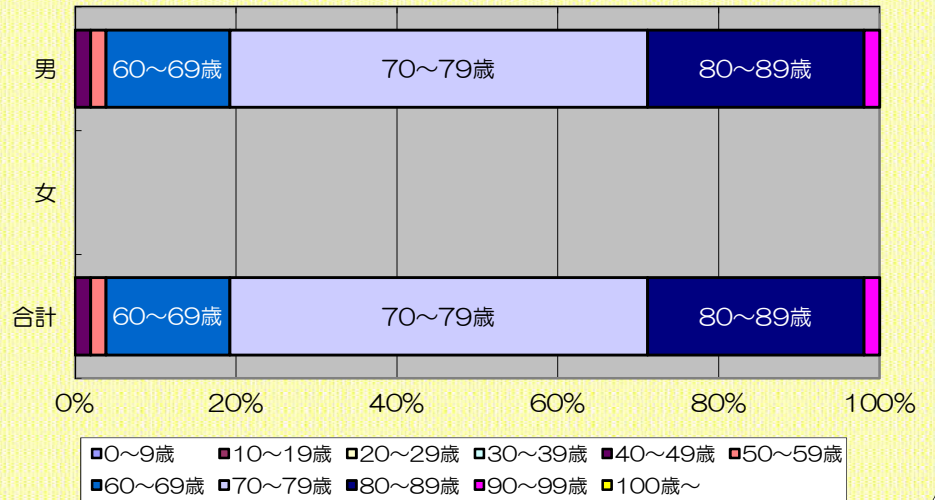
○治療の内訳は、緩和ケア、放射線療法、放射線療法+化学療法、化学療法、温熱療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）が48%と高くなっています。

6. 前立腺

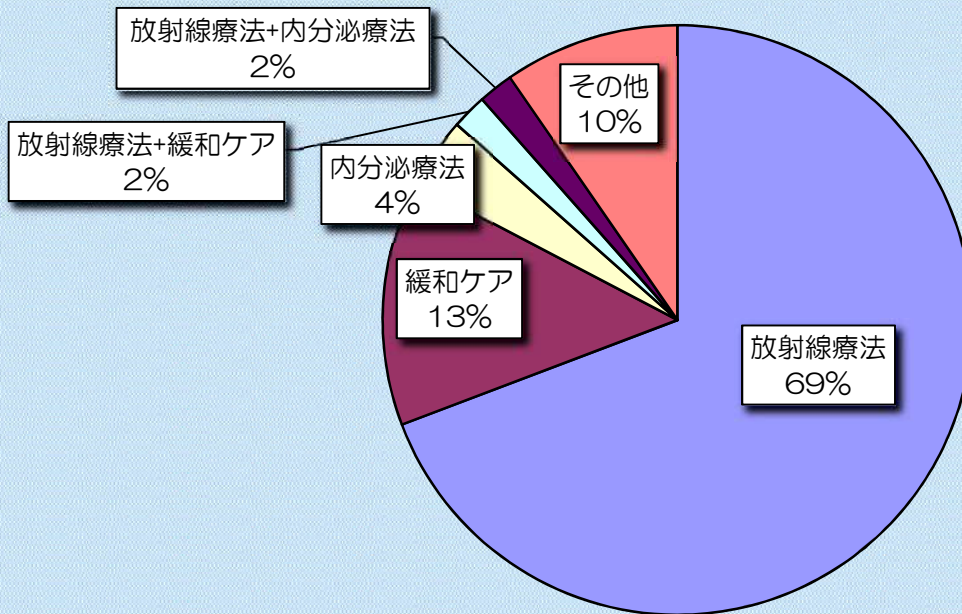
男女の割合



性別年齢階層別の割合



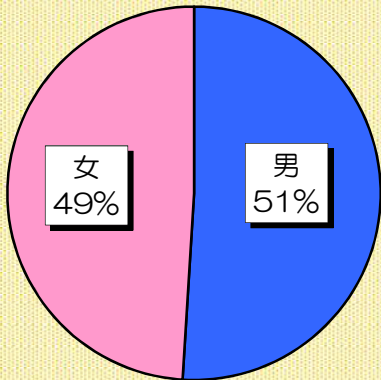
治療内容



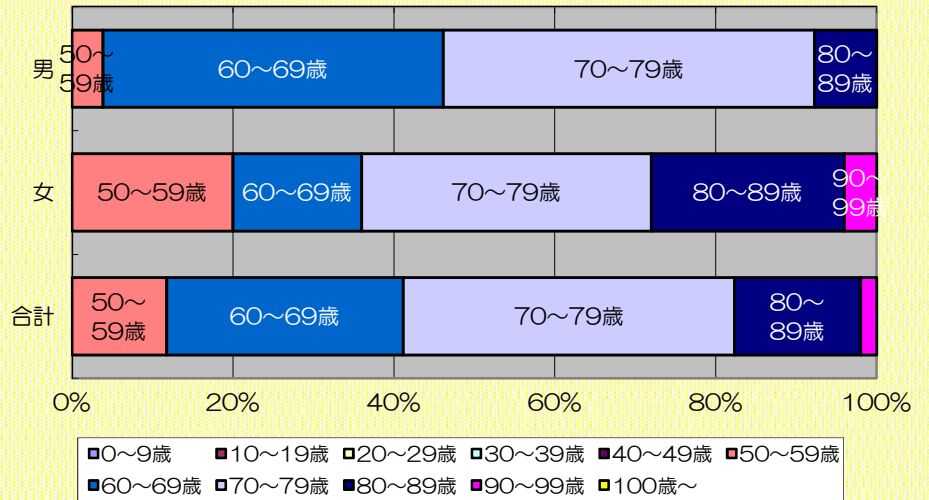
- 前立腺がんの登録件数は52件です。
- 前立腺がんは男性の疾患です。
- 年齢階層は、70~79歳の割合が最も高くなっています。
- 治療の内訳は、放射線療法の割合が69%と最も高くなっています。

7. 膵臓

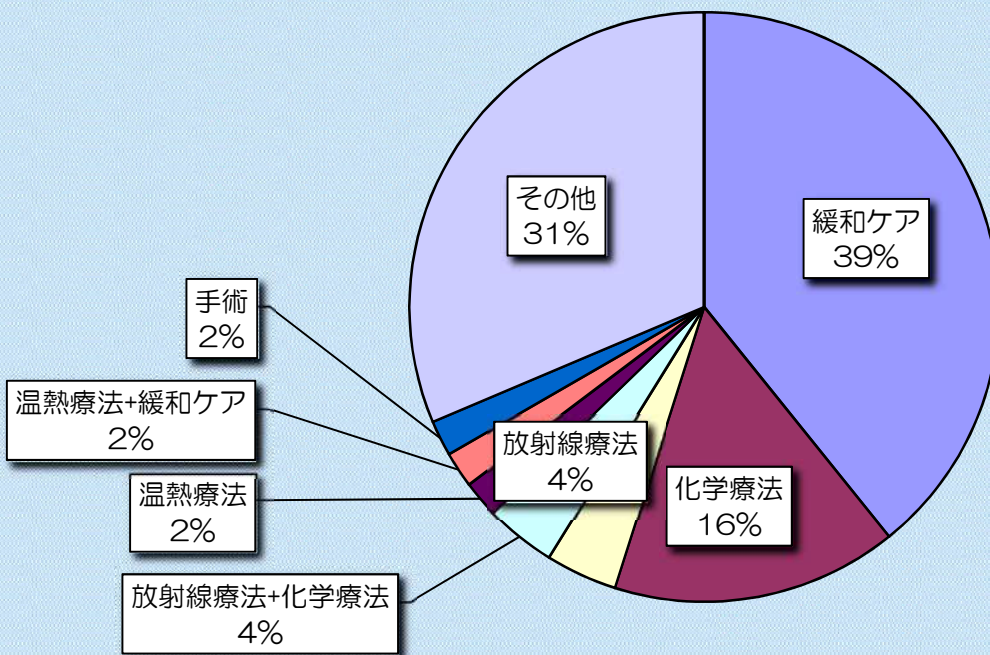
男女の割合



性別年齢階層別の割合



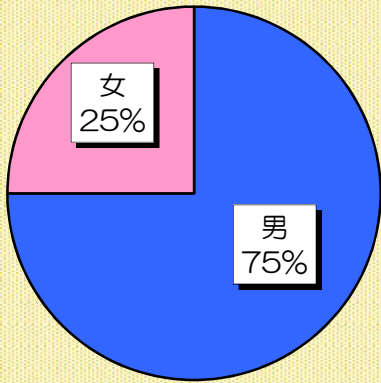
治療内容



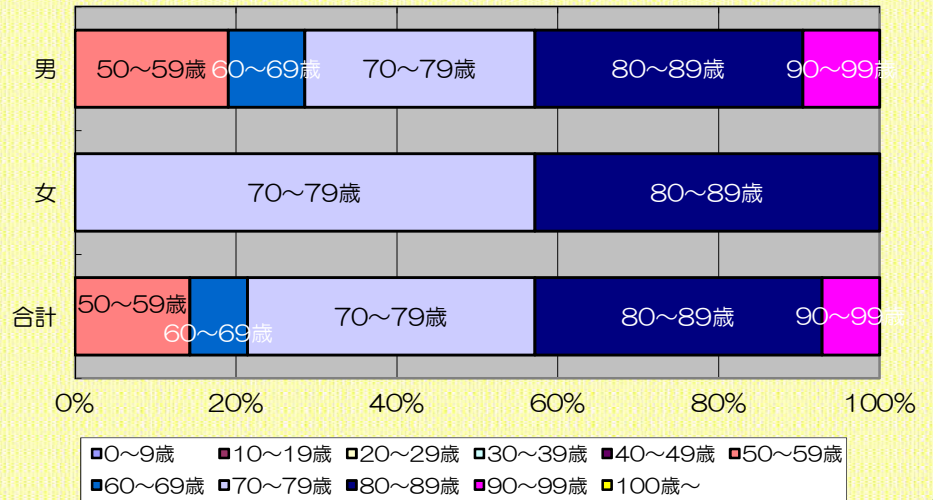
- 膵臓がんの登録件数は51件です。
- 膵臓がんの男女の割合は、男性が51%、女性が49%となっています。
- 年齢階層は、男性は70~79歳、60~69歳の割合が高く、女性は70~79歳の割合が高くなっています。
- 治療の内訳は、緩和ケアの割合が39%と最も高く、次いで化学療法、放射線療法、放射線療法+化学療法の順となっています。

8. 肝臓

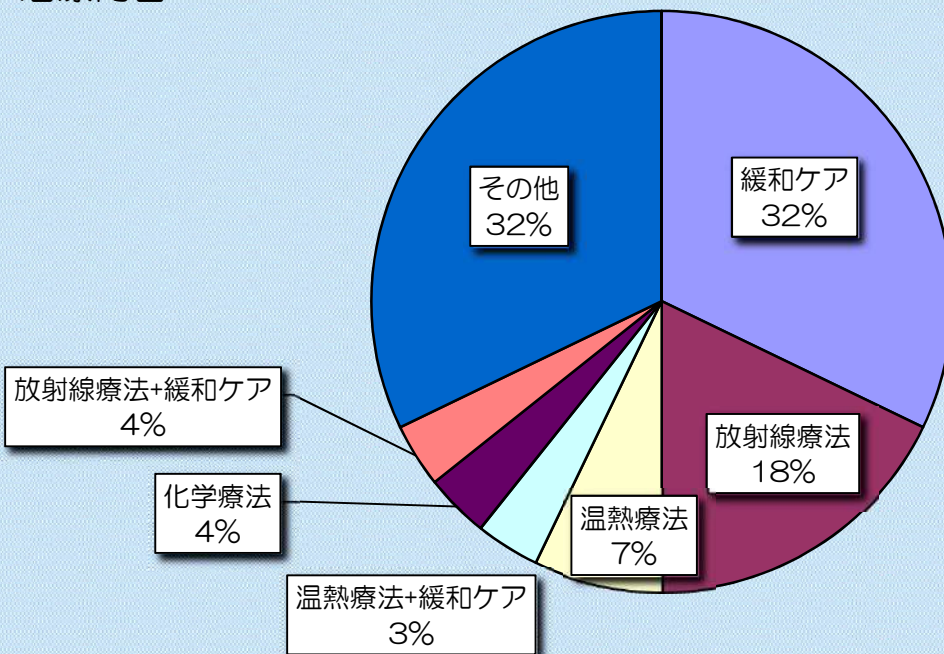
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肝臓がんの登録件数は28件です。

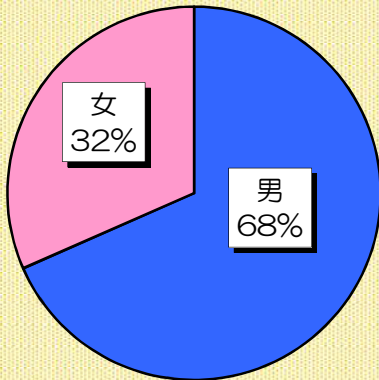
○肝臓がんの男女比率は、男性が75%、女性が25%となっています。

○年齢階層は、男性は80~89歳・70~79歳の割合が高く、女性は70~79歳の割合が高くなっています。

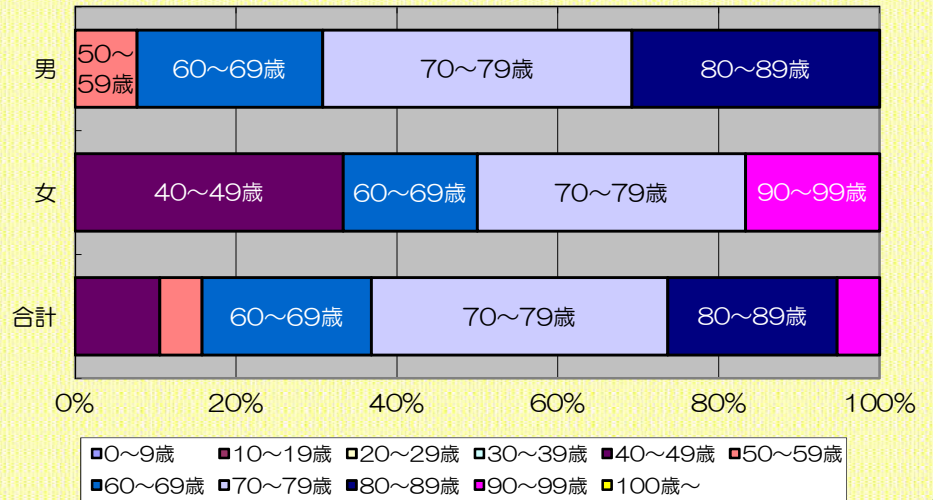
○治療内容は、緩和ケアが32%で最も割合が高く、次いで放射線療法、温熱療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は

9. 口腔・咽頭

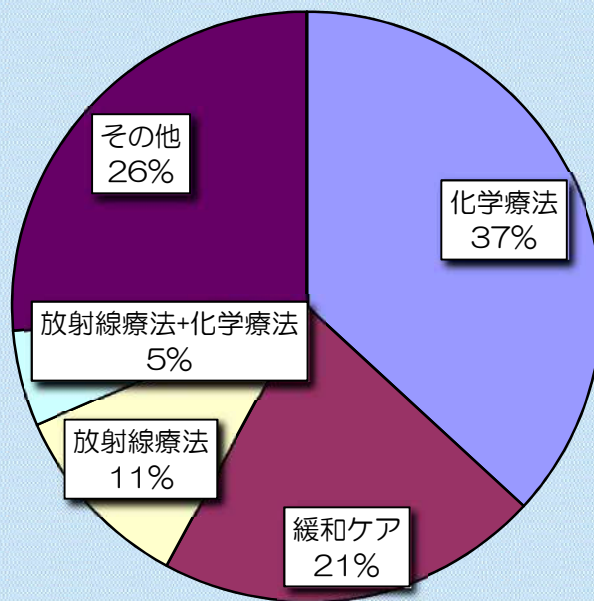
男女の割合



性別年齢階層別の割合



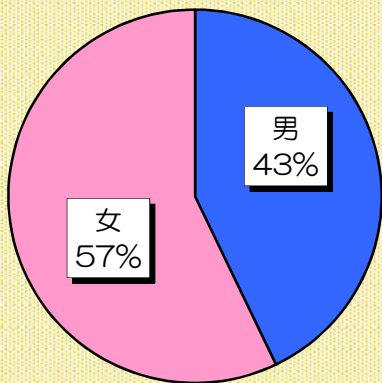
治療内容



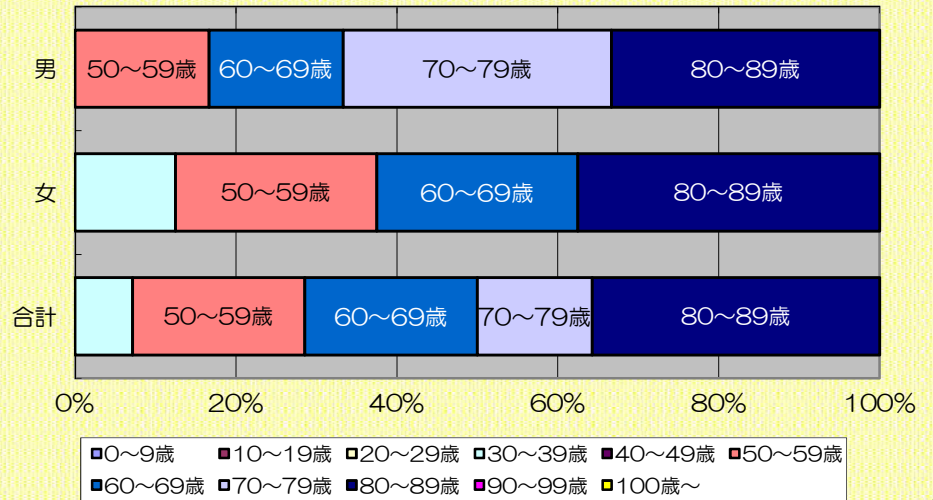
- 口腔・咽頭がんの登録件数は19件です。
- 口腔・咽頭がんの男女比率は、男性が68%、女性が32%となっています。
- 年齢階層は、男性女性ともでは70~79歳の割合が高くなっています。
- 治療の内訳は、化学療法が37%で最も割合が高く、次いで緩和ケア、放射線療法、放射線療法+化学療法の順で割合が高くなっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は26%となっています。

10. 脳・中枢神経系

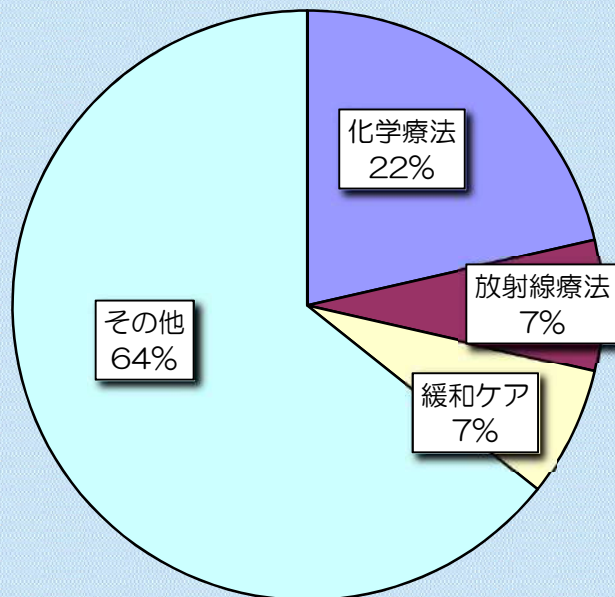
男女の割合



性別年齢階層別の割合



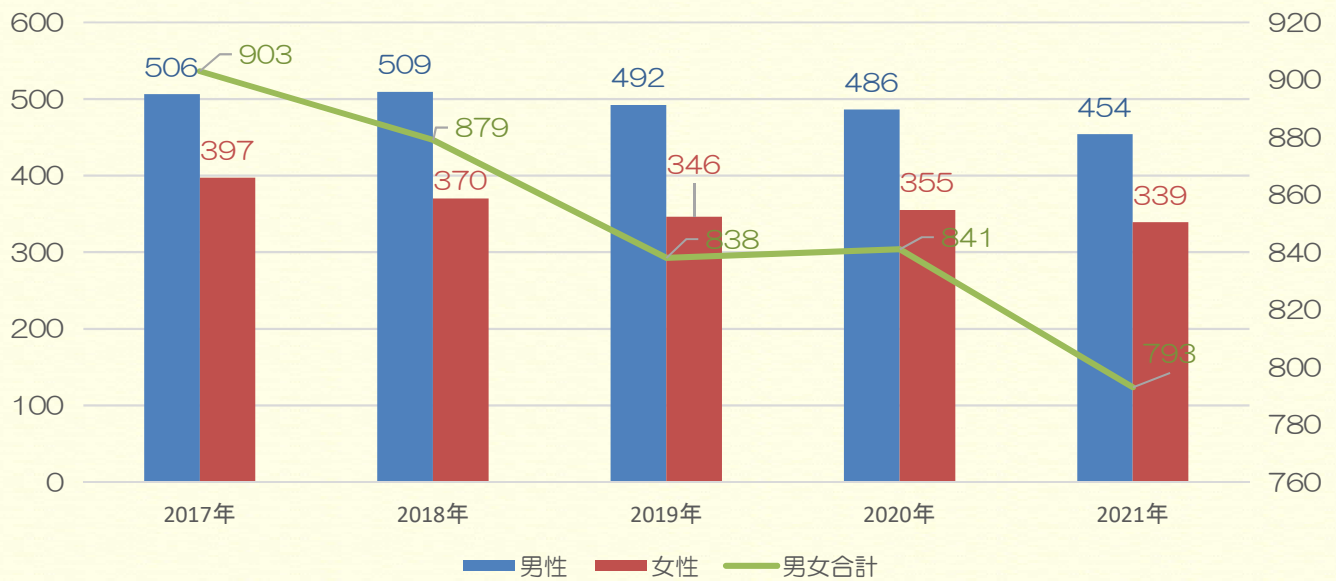
治療内容



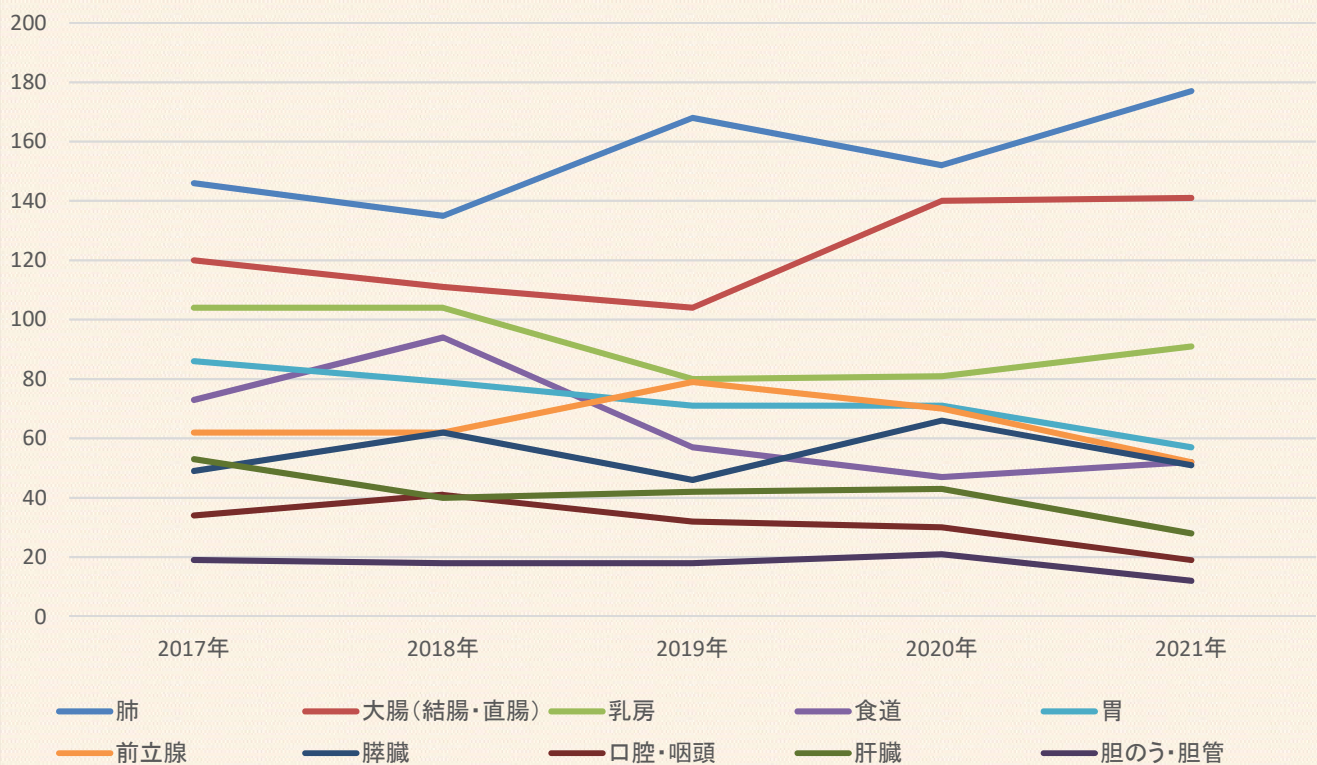
- 脳・中枢神経系のがんの登録件数は14件です。
- 脳・中枢神経系のがんの男女比率は男性が43%で、女性が57%でした。
- 年齢階層は、男性は70~79歳の割合が高く、女性は80~89歳の割合が高くなっています。
- 治療内容では、化学療法が22%と最も割合が高くなっています。次いで放射線治療および緩和ケアが7%です。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は64%と高くなっています。

登録件数推移

院内がん登録件数推移



院内がん登録上位10部位登録件数推移



○2021年は新型コロナウイルス感染症による影響により登録件数がおおよそ5%減少しています。

○部位別の推移では、肺および大腸（結腸・直腸）が増加傾向、胃は減少傾向となっています。